

8月20日

修院長教会博士ベルナルド

Bernard of clairvaux

(1090頃～1153)

～フランスの修道院長～



「クレルヴォーの
ベルナルドゥス」

彼はフランスの神秘思想家で修道院長、そして教会博士である。

彼はディジョン近くの貴族の裕福な家庭に生まれ育ったが、22歳の時、聖なる生活によって神に生涯をささげる決心をし、ベネディクト会のシトーの修道院に入ることを決める。当時のシトー会は労働と禁欲を厳守して修道院改革の中心的な役割を担っていたが、あまりの厳しさに修道院は1つしかもっていなかった。

そのシトー会にベルナルドは4人の兄弟や貴族をはじめとする友人30人をさそい、共に入会する。さらにその後、ベルナルドの父と弟も続いて入会し、シトー会は大きく発展することとなる。

ベルナルドがシトー会に入会した二年後、当時の院長だったスティーヴン・ハーディングは新しく分会をつくるためにベルナルドを12人の修道士とともにオーブの人里離れた溪谷に派遣した。その溪谷は明るい谷 (Clair-vaux:クレルヴォー) と呼ばれ、そこに修道院を創立した彼はその修道院長となり、死ぬまでつとめる。

その新たな修道院の厳格な生活、そしてベルナルドの雄弁な説教によって、クレルヴォーの名声は高まり、フランスからイギリスにいたるまで、68の新しい修道院が建てられていく。

そして、ベルナルドの影響は修道院内にとどまることはなかった。教皇の選挙の際に教会の分裂を阻止したこともあった。また彼の弟子の中から教皇エウゲニウス3世が誕生し、教会改革を強く呼び掛けることとなる。なお、エウゲニウス3世が教皇になったときにベルナルドは彼にこのように書き送っている。

「今まであなたを子と呼んでいましたが、もうそれはいけません。子は父となりました。」

この後、ベルナルドはキリスト教界に強い影響力をもつこととなり、第二回十字軍は彼の説教と努力によって実現したと言われている。

彼の著作には「恩恵と自由意思」、「われ神を愛す」などがある。 (Y)

<特禱>

全能の神よ、あなたは主のしもべ、修院長教会博士ベルナルドの教えによって公会を照らして下さいました。どうか天の恵みをもって公会をますます豊かにし、忠実な証びとを起して下さい。その生活と教えに倣い、わたしたちがすべての人に救いの真理を宣べ伝えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン